

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

30件の電話番号などを記憶、アラーム・時報  
1/100秒ストップウォッチ/タイマー

1556

取扱説明書

1556

G-SHOCK

このたびは、カシオデジタルウォッチをお買いあげくださりましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

# 安全上のご注意

## 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

### ⚠ 警告

#### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

### ⚠ 注意

#### お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

#### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



#### データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



# 操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

※各モードでその機能を使用した後、①ボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

**時刻・カレンダーモード**

年 曜日  
モードマーク  
アラーム・時報 ONマーク  
午後マーク (午前は不点灯)  
時 分 秒  
ELバックライト ONマーク

(曜日の見方)

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

①ボタン (ライト点灯)  
②ボタン (点滅)

★ELバックライトON/OFF切り替え  
①ボタンを1~2秒間押し続けるごとにELバックライトのON(点灯)/OFFが切り替わります。  
※「★ELバックライトの自動発光」参照

**テレメモモード**

モード表示

モードマーク

約2秒後

名前部

**タイマーモード**

モード表示

モードマーク

**ストップウォッチモード**

モード表示

モードマーク

**アラームモード**

モード表示

モードマーク

## 表示照明用ELバックライトについて

時刻・カレンダーモード、ストップウォッチモード、タイマーモードのとき、①ボタンを1回押すと文字板が約2秒間発光します。

※発光しているときにもう一度①ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。

※ライトOFF(点滅不点灯)でも①ボタンを押すと発光します。

### ★ELバックライトの自動発光

ライトON(点灯)のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

### <ELバックライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

## ■デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能\*」に設定してあります。

デモ表示では通常のボタン操作はできません。  
\*デモ機能とは、本機の表示を自動的に見せるモードです。

- デモ機能の解除…①ボタンを約2秒間押しすると、デモ機能が解除されます。
- デモ機能にするには…解除時と同様に①ボタンを約2秒間押し続けます。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

### ■秒の合わせ方 …30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

- (1) 時刻・カレンダーモードのときに、①ボタンを約2秒間押しして時刻セットモードにします。  
※秒が点滅します。



- (2) 時報に合わせて、②ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。



秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

- (3) ①ボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



### ■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

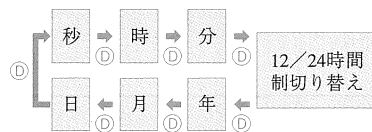
- (1) 時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを約2秒間押しして時刻セットモードにします。  
※秒が点滅します。



- (2) ①ボタンを押します。

※セットモードのとき、①ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。

点滅個所がセット可能ですので、①ボタンでセットしたい個所を選びます。



※「年」は西暦下2桁で、1995年~2039年までセットできます。  
※曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

- (3) 点滅個所が②ボタンを押すごとに1つずつ進み、①ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。



①ボタンでセットしたい個所を選び、②・①ボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。  
※「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。  
※12/24時間制切り替えは、②ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後)と24時間制表示とが切り替わります。

- (4) セットが終わったら(どの個所が点滅していても)①ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
- 時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

# テレメモの使い方

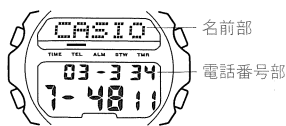
操作のしくみにしたがって**Ⓐ**ボタンを押し、テレメモモードにします。

テレメモはアルファベット・数字8文字（6文字以上はスクロール表示）、数字12桁までの電話番号などを30件までメモリーできます。

テレメモモードに切り替えた直後は前回テレメモモードでサーチした内容が表示され、**Ⓐ**ボタンを押すごとにアルファベット順に、**Ⓑ**ボタンを押すごとに逆アルファベット順に表示されます。（自動編集機能）  
※**Ⓐ**・**Ⓑ**ボタンは押し続けると早送りができます。



↓ 約2秒間

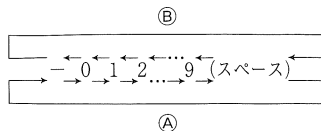
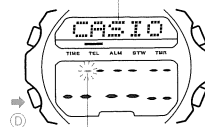


## 【名前部入力上の注意】

アルファベットのO(オー)を数字の0(ゼロ)で代用するなど、形の似た文字を名前部に使うと、自動編集（並べ替）のときに正しく並び替えられないことがありますのでご注意ください。

名前部の入力が終わったら、**Ⓐ**ボタンを押して電話番号部を点滅させ、**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンで番号をセットまたは修正します。  
・**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押すごとに以下の順で数字が切り替わります。

頭から5文字分表示

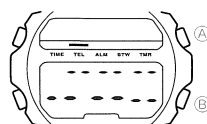


## ■セット（修正）のしかた

(1) テレメモモードで**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。

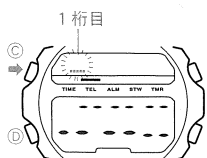
※データが30件分セットされているときは、リセット表示とはならず、“FULL”と表示されますので、不要なデータを消去してください。（「消去の仕方」参照）

(リセット表示)



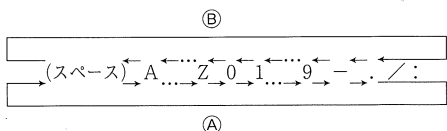
(2) **Ⓒ**ボタンを約2秒間押しと名前部1桁目が点滅します。

このとき**Ⓐ**ボタンを押すごとに点滅個所が名前部1桁目から8桁目、電話番号部1桁目から12桁目までを1桁ずつ移動します。点滅個所がセット可能です。



(3) **Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押してアルファベットおよび番号を表示させます。目的の文字を表示させたら**Ⓐ**ボタンを押して次の桁を点滅させ、**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押して目的の文字を表示させる操作を繰り返し、名前部をセットまたは修正します。

※**Ⓐ**・**Ⓑ**ボタンは押し続けると早送りができます。  
・**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押すごとに以下の順でアルファベット・数字が切り替わります。



(4) セットが終わったら**Ⓒ**ボタンを押すと“自動編集”が行なわれ、メモリーした番号がアルファベット順に並び替えられセット完了です。

※自動編集はアルファベットの8文字を1桁目から比較して行なわれ、順序はスペース、A~Z、0~9、-、.、/、:の順序となります。

●テレメモのセットで表示を点滅させたままにした場合は、2~3分後、自動的にテレメモモードの表示に戻ります。

●スクロール表示  
テレメモ機能の名前部の入力文字数は8文字ですが、6文字以上入力した場合は**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンでサーチした後、1度に5文字を表示し、約1秒後から表示が右から左に順に送られて（スクロール）表示します。

例) “WATANABE” の場合



## ■メモリー残り件数の表示のしかた

テレメモモードのとき**Ⓐ**ボタンと**Ⓑ**ボタンを同時に押します。押している間、メモリー残り件数の表示をします。

同時に押す



## ■消去の仕方

テレメモモードで**Ⓐ**または**Ⓑ**ボタンを押して消去したい内容を表示させ、**Ⓒ**ボタンを約2秒間押しします。このとき（名前部1桁目が点滅）**Ⓐ**・**Ⓑ**ボタンを同時に押すと確認音が鳴り、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときは**Ⓒ**ボタンを押して点滅を止めます。

# ストップウォッチの使い方

操作のしくみにしたがって**Ⓐ**ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

## ■計測のしかた

**Ⓐ**ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測中**Ⓒ**ボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。

（“SPLIT”表示）

**Ⓐ**・**Ⓒ**ボタンとも押しと操作確認音が鳴ります。

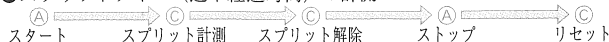


## ●通常の計測

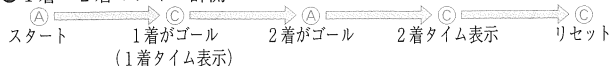


※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（**Ⓐ**ボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

## ●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



## ●1着・2着のタイム計測



## アラームの使い方… 操作のしやすさにしたがってDボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セットした時刻になると20秒間電子ブザーで知らせるアラームが5つあります。月・日・時・分を指定するとその月のセット時刻に、時・分のみを指定すると毎日セット時刻に鳴ります。

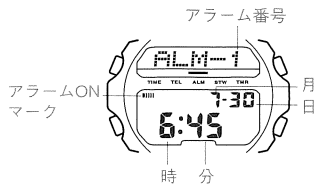
なお、5つのアラームはいずれも同じ使い方です。

また、毎正時(00分のとき)を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

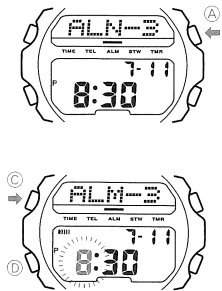
※ELバックライトON(点灯)にしておくと、アラーム・時報の報音に合わせて文字板が発光します。

### ■セットのしかた

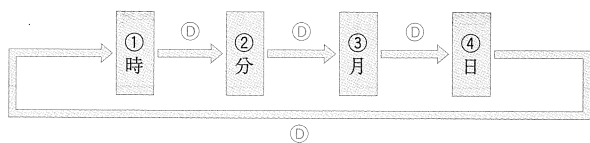
(1) アラームモードでAボタンを押して合わせたいアラーム番号(1~5)を表示させます。



(2) Cボタンを約2秒間押しすると「時」が点滅します。  
※アラームONマーク(点滅)が点灯します。



(3) Dボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。  
※点滅個所がセット可能ですので、Dボタンでセットしたい個所を選びます。



(4) 点滅個所がAボタンを押すごとに1つずつ進み、Bボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、時・分・月・日をセットします。

※A・Bボタンは押し続けると早送りができます。

※月・日を指定しないときは月・日とも“-”にします。(「月日のセット」参照)

注「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。

注 基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(5) セットが終わりましたら、Cボタンを押ししてセット完了です。



●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

### ●月日のセット

月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日が変わります。

月・日・時・分セット→指定月日の指定時刻に鳴る。

月・時・分のみセット→指定月の1か月間、毎日指定時刻に鳴る。

日・時・分のみセット→月1回、指定日の指定時刻に鳴る。

時・分のみセット →毎日指定時刻に鳴る。

### ■アラーム・時報のON/OFF

各アラーム表示(1~5)、時報表示のとき、Bボタンを押すごとに各アラーム表示(1~5)のときはアラームONマーク(点滅)が、時報表示のときは時報ONマーク(点滅)が点灯・不点灯をくり返します。各マークとも点灯しているときはONで、電子ブザーが鳴ります。



### ■鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはA/B/C/Dのいずれかのボタンを押します。

### ●モニターアラーム

アラームモードでAボタンを1~2秒以上押し続けると、アラームの鳴り方で電子ブザーが鳴ります。

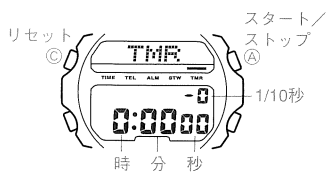
## タイマーの使い方… 操作のしやすさにしたがってDボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

※ELバックライトON(点灯)にしておくと、タイムアップの報音に合わせて文字板が発光します。

### ■セットのしかた

(1) タイマーモードのときにCボタンを約2秒間押しすると「時」が点滅します。



(2) Dボタンを押すごとに点滅個所が「時」、「分」、「秒」と移動します。



(3) 点滅個所がAボタンを押すごとに1つずつ進みます。

※Aボタンは押し続けると早送りができます。

※Bボタンによる戻しはできません。



(4) セットが終わったら、Cボタンを押してセット完了です。

Aボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。

※操作確認音が鳴ります。



### ●ロスタイムがある場合は

減算計測中、Aボタンはスタート/ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

### ●リピート(繰り返し)計測

タイムアップ後(残り時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。計測の途中で最初からやり直すときは、Aボタンを押して計測ストップ後、Cボタンを押します。

### ●オートリピート機能(自動繰り返し計測)

持ち時間のセットのとき(表示が点滅中)、Bボタンを押すごとにオートリピートマーク“AUTO”が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート計測ではタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。



オートリピートマーク

### ■鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはA/B/C/Dのいずれかのボタンを押します。

●タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

Dボタンでセットしたい個所を選び、Aボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分・秒を合わせてください。  
※持ち時間を24時間にセットするときは表示を“0:00 00”にします。

## ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)での使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を發する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気

- 磁気の影響はありません。

薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分のしかた

- とは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」

- を怠ると
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
- ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

### ■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

### ■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくとし色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

### ■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っているため故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

### ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

### ■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz  
常温携帯精度：平均月差±15秒以内  
表示方式：FE型液晶デジタル表示  
表示内容：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後  
カレンダー表示＝年・月・日・曜日フルオートカレンダー  
(1995年～2039年)  
テレメモ機能：電話番号などを最大30件までメモリー（名前部8文字、電話番号部12桁）  
自動ソート機能  
アラーム機能：時刻アラーム5つ セット単位＝分 電子ブザー＝20秒間  
時報 毎正時に電子ブザーで報時  
タイマー機能：計測単位＝1/10秒 セット単位＝秒 電子ブザー＝10秒間  
計測範囲＝24時間  
計測機能＝通常計測・ロスタイム計測・オートリピート計測  
ストップウォッチ機能：計測単位＝1/100秒 計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）  
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測  
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、アラームセット機能、タイマーセット機能、タイマーオートリピートセット機能、テレメモセット機能  
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え、デモ機能  
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI  
使用電池：CR-2016（電池別途販売）  
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。  
電池寿命：約2年（1日当たりライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合）  
〔ただし、ELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。〕  
●1日当たりELバックライト2秒間を5回使用：約1.5年  
●1日当たりELバックライト2秒間を10回使用：約1.0年